

# 国公立大の募集人員は 「推薦入試+AO入試」で 2 割を超える！ 個別試験は英語・面接重視／英語「外部検定」活用拡大！

旺文社 教育情報センター 2019 年 1 月

2019 年国公立大入試は、2021 年の新テスト導入を控え、志願者の能力・意欲・適性等の“多面的・総合的評価”がさらに進んでいる。特にAO入試の実施大学、募集人員の増加や、一般入試の個別試験では英語・面接重視、英語「外部検定」利用が増えている。

文科省発表の『国公立大学入学者選抜の概要』等を基に、2019 年国公立大入試の概要をまとめた。

## ◆ 推薦・AO入試の学力担保

原則として学力検査を免除する推薦入試や、志願者の能力、適性、学習意欲、目的意識等を総合的に判定する AO 入試については、基礎学力の担保に課題があると指摘されている。

文科省の『大学入学者選抜実施要項』では、推薦・AO 入試の学力担保に関して、私立大も含めた各大学は基礎学力を把握するために、次の①～④のうち、少なくとも 1 つを出願要件(出願の目安)や合否判定に用いることなどを求めている。

なお、①～③の場合は④との組合せなど、調査書の積極的な活用が望ましいとしている。

- ① 各大学が実施する検査(筆記、実技、口頭試問等)の成績
- ② センター試験の成績
- ③ 資格・検定試験などの成績等
- ④ 高等学校の教科の評定平均値

## ◎ 「セ試課す」が拡大傾向

国公立大「推薦・AO 入試」におけるセ試利用状況は、「セ試を免除する」(以下、「セ試免除」)実施方法が、推薦入試、AO 入試とも、また国立大、公立大ともに「セ試を課す」(以下、「セ試課す」)実施方法より上回っている。

しかし、推薦・AO 入試の学力把握のため、「セ試課す」推薦・AO 入試が拡大傾向にある。

## ◎ 「セ試課す」推薦・AO入試の推移

「セ試課す」推薦と「セ試免除」推薦の学部数(国公立大合計。以下、同)の推移を見ると、セ試開始時(1990 年)は「セ試課す」=107 学部(入試実施学部数に対する割合 24.1%)、「セ試免除」=139 学部(同 31.3%)で、その差は 7.2 ポイント程度であった。その後「セ試免除」が急増し、2005 年には「セ試課す」=118 学部(同 21.5%)、「セ試免除」=356 学部(同 64.8%)となり、15 年間で両者の間には 43.3 ポイントもの大きな差を生じた。

最近の動きを見ると、「セ試免除」推薦の実施学部の割合は2001年～2016年まで60%台で推移していたが、2017年は57%台まで下降。2018年は10学部増で58%台に、2019年は11学部増で59%台に上昇した。

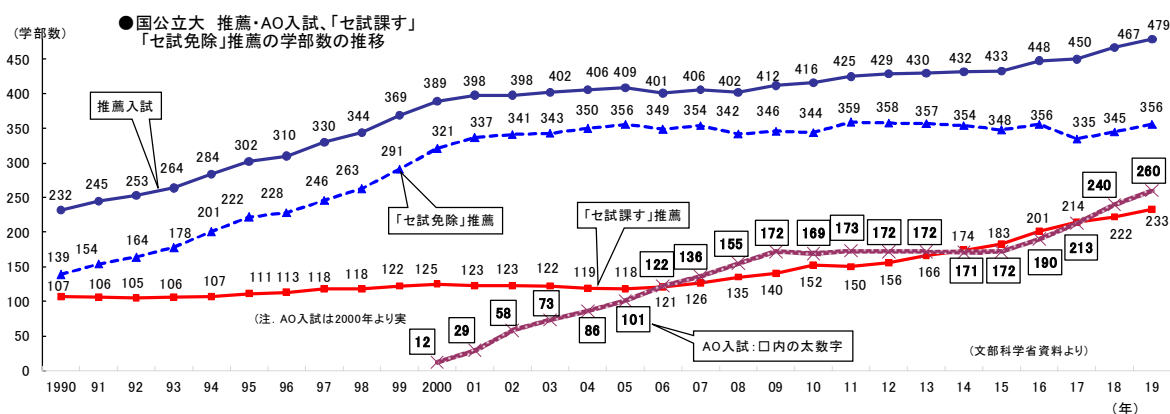
一方、「セ試課す」推薦は増加傾向にあり、2019年は前年より11学部増の233学部(同38.6%)で、「セ試免除」推薦(356学部)との実施率の差は20.4ポイントに縮まった。

2000年に12学部からスタートしたAO入試は2009年の172学部まで一気に増えたが、それ以降は2015年(172学部)まで頭打ち状態であった。

しかし、2016年以降は難関国立大での新規実施などで、2016年190学部(同33.0%)→2017年213学部(同36.8%)→2018年240学部(同40.5%)→2019年260学部(同43.1%)に増加している。

また、「セ試課す」AO入試についても、2015年70学部(同12.4%)→2016年84学部(同14.6%)→2017年96学部(同16.6%)→2018年107学部(同18.1%)→2019年111学部(同18.4%)と急増している。(図1、表2参照)

(図1)



**一般入試**      **個別試験**  
**募集人員：国立大「前・後期」“減”、「AO」“増”。公立大「中期・AO」“増”**  
**目立つ／個別試験：英語“重視”、外部検定利用“拡大”**

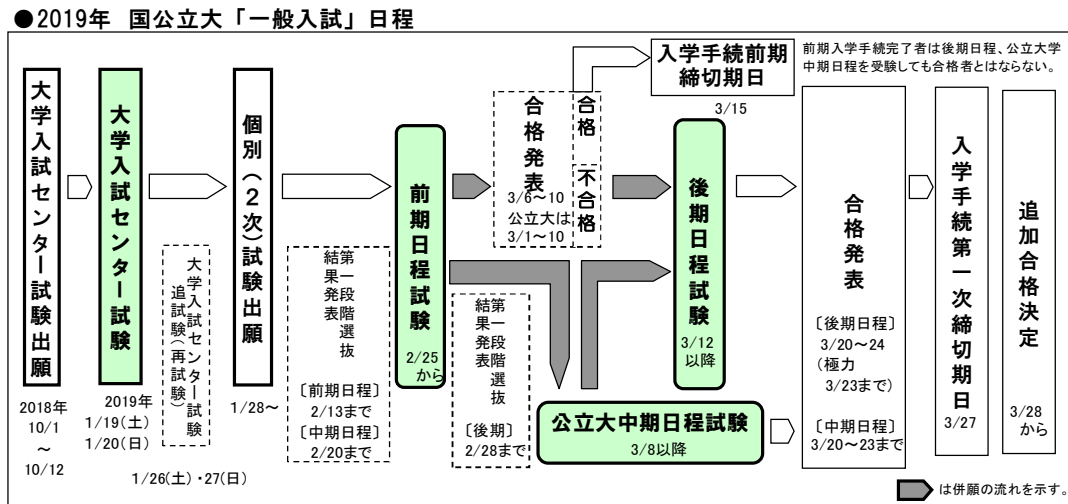
<入試日程>

2019年に入試を実施する国公立大は、国立82大学401学部、公立90大学202学部の合計172大学603学部(国立大2学部増、公立3大学・9学部増)である。これは2018年7月末現在集計のもので、当時、設置認可申請中等の予定も含む(当資料の文科省発表は12月下旬)。

個別学力検査等(個別試験)は、2019年1月28日(月)～2月6日(水)まで出願受付が行われ、前期(2月25日<月>から：(前)と表記)／公立大中期(3月8日<金>以降：中期又は(中)と表記)／後期(3月12日<火>以降：(後)と表記)の各日程で実施される。(図2参照)

なお、公立の国際教養大と新潟県立大は独自の「別日程」で入試を実施する。

(図 2)



### <「分離分割方式」の弾力化と募集人員>

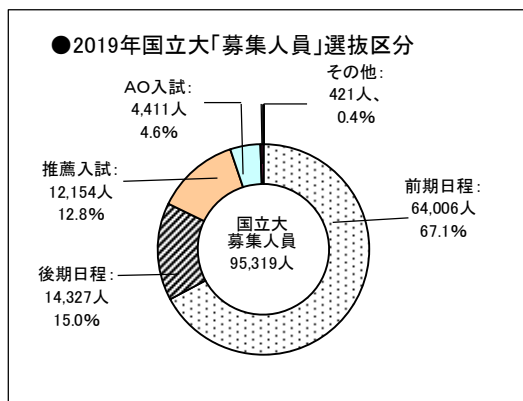
#### ◆ 国立大:「前期」「後期」「減少」、「AO」「増加」／公立大:「中期」「AO」「増加」目立つ

国公立大の個別試験は、公立大の中期と別日程を除き、同一募集単位の入学定員を前期と後期に振り分ける「分割」と、前期の合格者が入学手続きをしてから後期試験を行うという、前・後期試験の「分離」とを組み合わせた「分離分割方式」で実施される。この方式では、前期に合格し入学手続きをした者は、後期(中期も含む)を受験しても合格者とならない。

一般に、前期は学科試験主体、後期は小論文や総合問題、実技、面接などを主体とする選抜が行われる。こうした選抜方式において、国立大では2006年入試以降、後期募集を縮小・停止し(前・後期の定員比率の弾力化)、「前期集中化」や「推薦・AO入試」の導入・拡大を図る、いわゆる「分離分割方式」の“弾力化”(国大協2003年提起)が図られてきた。

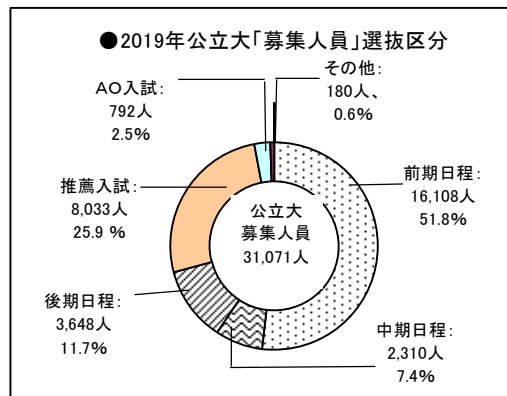
2019年国公立大入試の日程・選抜方式別の募集人員を前年と比べると、国立大は「前期」283人(前年比0.4%)減、「後期」321人(同2.2%)減で、「前期」「後期」とも減少。公立大は「前期」566人(同3.6%)増、「後期」58人(同1.6%)減、「中期」183人(同8.6%)増である。(図3・4・6・7参照)

(図 3)



注「その他」は社会人入試、帰国子女入試など。(文部科学省資料より)

(図 4)



注「その他」は社会人入試、帰国子女入試など、一般入試における別日程の募集人員は含まない。(文部科学省資料より)

## ◆ 一般入試の募集人員

推薦入試、AO入試、専門高校・総合学科卒業生入試、別日程入試の国際教養大(一般入試募集105人)と新潟県立大(同195人)、及び帰国子女入試、社会人入試等を除く、2019年の一般入試の募集人員は10万399人(国立大7万8,333人、公立大2万2,066人)で、2018年より87人(0.1%)の増加となった。

試験日程別の募集人員は、前期8万114人(前年より283人増)、後期1万7,975人(同379人減)、及び中期2,310人(同183人増)となっている。

「分離分割方式」の前期と後期の募集人員の割合をみると、前期は1990年の77.5%から1997年の72.1%まで減少した後、1998年から2014年まで毎年上昇を続け、2014年は80.4%に増加し、後期は19.6%に減少。2015年は前・後期とも2014年と同率。2016年から2018年にかけてそれぞれ前期が増加し、後期は減少した。2019年は前期がさらに若干増えて81.7%、後期が18.3%に減って、両者の差が広がった。(表1・表2参照)

●2019年国公立大一般入試/地区別・日程別募集人員					●国立大の内訳				●公立大の内訳 (表1)			
地区	前期(人)	後期(人)	中期(人)	合計(人)	地区	前期(人)	後期(人)	合計(人)	前期(人)	後期(人)	中期(人)	合計(人)
北海道・東北	10,755	2,479	155	13,389	北海道・東北	8,952	2,174	11,126	1,803	305	155	2,263
関東・甲信越	21,993	4,598	703	27,294	関東・甲信越	18,384	4,086	22,470	3,609	512	703	4,824
北陸・東海	10,585	3,191	434	14,210	北陸・東海	8,337	2,468	10,805	2,248	723	434	3,405
関西	13,828	2,481	656	16,965	関西	9,985	1,484	11,469	3,843	997	656	5,496
中国・四国	11,359	2,444	362	14,165	中国・四国	8,907	1,944	10,851	2,452	500	362	3,314
九州	11,594	2,782	0	14,376	九州	9,441	2,171	11,612	2,153	611	0	2,764
全国合計	80,114	17,975	2,310	100,399	全国合計	64,006	14,327	78,333	16,108	3,648	2,310	22,066
割合	81.7%	18.3%	-	-								
	79.8%	17.9%	2.3%									

注 ① 2019年『入学選抜要項』(2018年12月末)による。地区の区割りは旺文社による区分。  
 ② 人数は推薦入試、AO入試、専門高校・総合学科卒業生入試、公立大の別日程入試(国際教養大・新潟県立大の一般入試)、社会人入試、帰国子女入試等を除く。  
 ③ 2018年7月末現在、学部・学科等の設置認可申請中の予定募集人員も含む。  
 ④ 「割合」の上段は前・後期日程内、下段は総募集人員(前・後・中期日程)内での割合。

国立大のみでみた前期の比率(割合:%)は、2004年以降で、2004年=74.3% → 74.7% → 76.1% → 77.7% → 78.5% → 79.0% → 79.4% → 79.5% → 80.0% → 80.3% → 80.3% → 80.5% → 80.6% → 81.2% → 81.4%、2019年=81.7%と推移しており、「分離分割方式」の「前期集中化」がうかがえる。

## ● 公立大「中期」の“新規参入・拡大”

公立大の「中期」は、1998年まで(国立大は1996年まで)実施されていた試験日程の「連続方式」(A日程:2月25日から、B日程:3月5日以降、C日程:3月8日以降<公立大のみ>)の廃止に伴い、“公立大独自”のC日程を「公立大中期日程」として継続実施している試験日程である。これは受験機会の縮小を懸念したC日程実施大学の地元の要望などを踏まえたもので、当時のC日程実施大学・学部だけが実施する、いわば、“特別の試験日程”であり、1999年以降2013年まで、「中期」への新規参入大学・学部はなかった。

しかし、2014年・2015年及び2017年・2018年入試において、私立から公立に移行(公立化)した大学が「中期」枠に新規参入した。2019年入試でも新規参入や「中期」枠拡大で、前年より183人(8.6%)増加した。

今後、「中期」日程は、公立大の試験日程において、「前期」や「後期」と同様、全ての公立大を対象に拡大していくのか、注目される。

## ◆ 2019 年募集人員

前述の募集人員(10万399人)は一般入試のみであるが、推薦・AO入試や専門高校・総合学科卒業生入試、社会人入試なども含めた2019年入試の募集人員は国立大9万5,319人、公立大3万1,071人(別日程の募集人員含めない)の合計12万6,390人で、2018年より1,099人(0.9%)増員。2018年に比べ、国立大は8人減、公立大は1,107人増となる。(図3・4参照)

なお、公立の別日程入試を行う国際教養大(募集人員105人)と新潟県立大(同195人)の募集人員を含めると、公立大の募集人員は3万1,371人(2018年より1,107人、3.7%増)となる。したがって、2019年国公立大入試の全ての入試形態による総募集人員は12万6,690人となる。ただ、入学定員等については、各大学の『入学者選抜要項』の取りまとめ以降、大学・学部等の設置認可や届出、2019年度文部科学省概算要求(予算)に絡む『平成31年度国立大学の入学定員について(予定)』などによって変更される場合がある。

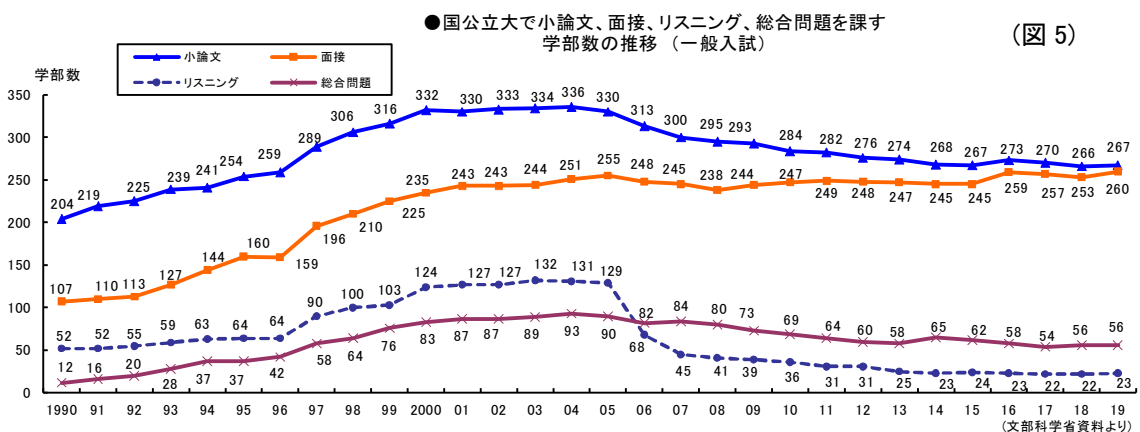
## ◆ 個別試験の自校「リスニング」、学部での実施率3%台で推移

最近、英語「外部検定試験」の活用は拡大傾向にあるが、セ試「英語」にリスニングが導入された2006年は自校におけるリスニング実施が2005年より61学部(47.3%)も一気に減少して68学部となった。以来、減少傾向にあり、学部での実施率は3%台に低迷。

最近の動向をみると、2014年の実施学部数は、国立大は2013年と同数だったが、公立大が減少して国公立大全体では23学部で2年連続の減少。2015年は公立大の1学部増で、全体では24学部が増加。2016年は国立大の1学部減少で、国公立大全体では23学部と再び減少。2017年は、国立大は前年と同じだったが、公立大は前年より1学部減で国公立大全体では22学部(入試実施学部数に対する割合3.8%)と、2年連続の減少であった。2018年は、国公立大とも前年と同数であった。

2019年のリスニング実施大学・学部数は、国立大は10大学・20学部、公立大は前年と同じ2大学・3学部で、全体では12大学(入試実施大学数に対する割合7.0%)・23学部(入試実施学部数に対する割合3.8%)である。(表2・図5参照)

\*なお2019年度入試における国公立大の英語外部検定利用状況<推薦・AO編>は、旺文社教育情報センターの記事を参照。 → <http://eic.obunsha.co.jp/resource/viewpoint-pdf/201901.pdf>





## <2段階選抜>

2019年の2段階選抜の実施予備大学・学部数は、全体で65大学(入試実施大学数に対する割合37.8%)・168学部(同学部数に対する割合27.9%)。内訳は、国立大が46大学(同56.1%)・126学部(同31.4%)、公立大が19大学(同21.1%)・42学部(同20.8%)。(表2参照)

2019年は、新潟大-医(医)(前)、名古屋市立大-医(前)、兵庫県立大-国際商経(前)、長崎大-薬(薬)(後)、兵庫県立大-社会情報科学(中)などで新規実施。東京大-理科3類(前)、広島大-医(医)(前)、千葉大-法政経(前・後)で「予告倍率の引き締め」を実施。大阪大-外国語(前)、神戸大-法(後)などで「予告倍率の緩和」がみられる。

● 国公立大 入学者選抜概要の推移

(表2)

内容	実施年	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
入学者選抜実施学部		500	506	517	530	542	547	550	551	550	549	546	549	543	548	545	550	552	554	557	563	575	579	592	603	
方式	分離分割方式	392	466	475	520	532	537	540	540	540	536	533	537	532	531	531	536	539	542	545	551	563	567	580	591	
	前期日程(%)	72.9	72.1	72.3	72.7	73.5	73.9	74.4	74.5	74.8	75.4	76.6	78.0	78.8	79.3	79.6	80.1	80.3	80.4	80.4	80.6	81.1	81.3	81.7		
	後期日程(%)	27.1	27.9	27.7	27.3	26.5	26.1	25.6	25.5	25.2	24.6	23.4	22.0	21.2	20.7	20.4	20.3	19.9	19.7	19.6	19.6	19.4	18.9	18.7	18.3	
日程	連続方式A日程	97	13	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	連続方式B日程	29	12	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	公立中期(C日程)	12	12	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	13	14	14	15	20	28	
	別日程	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	8	4	3	3	3	3	3	3	3	3	
センター試験	6教科を課す	-	7	7	4	5	6	6	6	144	163	176	180	177	178	178	179	167	172	171	174	184	-	-	-	
	5教科を課す	376	395	399	403	405	407	408	410	386	383	388	387	387	392	396	399	446	457	457	461	478	-	-	-	
	4教科を課す	119	139	146	150	163	169	170	165	109	97	88	92	89	92	92	93	94	92	93	115	92	-	-	-	
	3教科を課す	178	193	195	206	221	222	218	215	170	162	151	153	146	151	146	149	145	146	149	143	154	-	-	-	
	2教科を課す	36	38	41	47	50	50	47	45	39	30	26	24	27	32	30	31	31	33	34	34	35	-	-	-	
個別試験	1教科を課す	4	5	5	7	6	8	8	7	6	7	7	7	6	9	9	9	9	6	6	6	6	-	-	-	
	課さない	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	-	-	-	
	4教科を課す	-	-	-	20	20	22	22	22	21	21	21	21	24	26	27	26	27	26	26	26	26	-	-	-	
	3教科を課す	-	-	-	148	154	156	164	169	166	163	171	168	168	177	171	166	166	170	172	170	178	-	-	-	
	2教科を課す	-	-	-	249	250	251	251	254	257	254	249	239	227	233	227	229	231	230	234	234	226	-	-	-	
選抜	1教科を課す	-	-	-	223	223	218	216	217	213	213	214	208	214	209	216	218	222	228	229	223	236	-	-	-	
	課さない	-	-	-	436	445	448	453	453	448	443	416	424	413	406	397	396	395	397	397	395	410	-	-	-	
	小論文	259	289	306	316	332	330	333	334	336	330	313	300	295	293	284	282	276	274	268	267	273	270	266	267	
	総合問題	42	58	64	76	83	87	87	89	93	90	82	84	80	73	69	64	60	58	65	62	58	54	56	56	
	面接	159	196	210	225	235	243	243	244	251	255	248	245	238	244	247	249	248	247	245	245	259	257	253	260	
	実技検査	76	78	78	78	78	78	80	80	79	77	79	80	77	76	75	75	78	77	78	78	84	83	77	76	
	リスニング	64	90	100	103	124	127	127	132	131	129	68	45	41	39	36	31	31	25	23	24	23	22	22	23	
	2段階選抜予告	220	210	204	205	200	189	185	185	183	177	175	170	171	164	160	160	157	156	157	157	159	157	164	168	
	専門・総合卒業生入試	1	6	12	20	21	21	21	21	20	20	20	18	15	13	11	10	10	10	10	10	10	8	8	8	
	法等	推薦入試	310	330	344	369	389	398	398	402	406	409	401	406	402	412	416	425	429	430	432	433	448	450	467	479
内、「七試」課す		113	118	118	122	125	123	123	122	119	118	121	126	135	140	152	150	156	166	174	183	201	214	222	233	
内、「七試」免除		228	246	263	291	321	337	341	343	350	356	349	354	342	346	344	359	358	357	354	348	356	335	345	356	
AO入試		-	-	-	-	12	29	58	73	86	101	122	136	155	172	169	173	172	172	171	172	190	213	240	260	
内、「七試」課す		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55	56	61	64	68	66	70	84	96	107	111
内、「七試」免除		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118	132	133	133	131	131	128	130	132	150	178
帰国子女入試	234	241	253	267	279	287	287	292	293	292	285	286	278	273	267	268	261	256	250	248	248	248	248	265		
中国引揚者等子女入試	59	62	66	76	82	82	85	85	81	79	70	67	58	50	49	47	41	37	32	22	15	16	17	13		
社会人入試	87	107	119	133	149	169	170	179	179	181	182	186	183	187	182	187	189	191	194	198	187	193	199	203		

- 注. ① 「-」は、「実施していない」「該当なし」「公表されていない」ことなどを示す。  
 ② 表中の前・後期日程(%)は、分離分割方式における前期及び後期募集人員のそれぞれの割合。  
 ③ 表中の「専門・総合卒業生入試」は、「専門高校・総合学科卒業生入試」の略。  
 ④ 連続方式(A・B日程)は国立大1996年、公立大1998年まで実施。公立大C日程は1998年まで(以降は中期日程)。  
 ⑤ 別日程は、公立大の一般入試において、分離分割方式によらないで試験を実施。2019年は国際教養大(2004年～)、新潟県立大(2009年～)の2大学・3学部。  
 ⑥ 2018年7月末現在、学部等の設置認可申請中の予定のものを含む。(文部科学省資料より)

**推薦・AO入試／専門・総合、帰国子女、社会人入試**

「推薦・AO入試」で約2万5,000人に！  
 「推薦」募集人員は初の2万人超え、「AO入試」も5,000人超え

### <推薦・AO入試>

#### ◆ 推薦・AO入試の実施大学・学部

2019年「推薦・AO入試」の実施大学・学部数は、次のとおりである。  
 推薦入試＝国立77大学(全体数に対する割合93.9%)・288学部(同71.8%)、公立88大

学(同97.8%)・191学部(同94.6%)／AO入試＝国立57大学(同69.5%)・204学部(同50.9%)、公立31大学(同34.4%)・56学部(同27.7%)。

国公立大全体では、推薦入試＝165大学・479学部(2018年より3大学・12学部増)／AO入試＝88大学・260学部(同3大学・20学部増)である。(図6・表2参照)

#### ◎ 国公立大「推薦入試」の実施状況

国公立大「推薦入試」の実施学部数の推移をみると、1990年～1994年まで200学部台、1995年～2002年まで300学部台と一気に増加した後、2003年～2015年は430学部程度まで緩やかに増加。2016年は東京大・京都大の新規実施などで15学部(3.5%)増の448学部に急増した。

2017年は2学部増に留まったが、2018年は17学部増。2019年は国立2学部増、公立3大学・10学部増で、12学部増の479学部となり、入試実施学部数の79.4%を占める。(図1・表2参照)

#### ◎ 推薦入試の新規実施

2019年に推薦入試を新規実施する国公立大・学部は次のとおり。(★印は大学として新規)

- ・国立大：東京外国語大-国際日本、福井大-工、三重大-工、広島大-教育、経済[夜]、長崎大-薬、など。
- ・公立大：横浜市立大-国際教養、国際商、理、富山県立大-看護、★公立小松大-生産システム科学、保健医療、国際文化交流、★公立諏訪東京理科大-工、★長野県立大-グローバルマネジメント、健康発達、名古屋市立大-総合生命理、兵庫県立大-国際商経、社会情報科学、など。

#### ◎ 国公立大「AO入試」の実施状況

国公立大のAO入試は、2000年に東北大・筑波大・九州大の国立3大学8学部と岩手県立大の公立1大学4学部の計4大学12学部で導入され、2009年の172学部まで一気に拡大。その後、2015年までは170学部程度であったが、2016年は京都大などの新規実施で18学部(10.5%)増の190学部、2017年は23学部(12.1%)増の213学部増加した。

2018年は茨城大など国立3大学と大阪市立大など公立3大学の新規実施で、前年より6大学・27学部(12.7%)増の85大学・240学部で実施。国公立全体のAO入試実施率(50.3%＊大学ベース)は、初めて50%を超えた。さらに2019年は国立1大学、公立2大学の新規実施で、前年から3大学・20学部増の88大学(入試実施大学数の51.2%)・260学部(同学部数の41.3%)で実施される(図7参照)

#### ◎ AO入試の新規実施

2019年にAO入試を新規実施する国公立大・学部は次のとおり。(★印は大学として新規)

- ・国立大：秋田大-国際資源、山形大-人文社会科学、理、福島大-人文社会科学群[夜]、農学群、神戸大-文、法、理、工、農、徳島大-医、香川大-農、★九州工業大-工、情報工、佐賀大-理工、農、宮崎大-工、など。
- ・公立大：★前橋工科大-工[夜]、首都大学東京-システムデザイン、横浜市立大-国際教養、国際商、理、医、★長野県立大-グローバルマネジメント、健康発達、大阪市立大-医、など。

◆「推薦入試+AO入試」募集人員:国立大、公立大とも“増加”、約2万5,400人

2019年の「推薦入試」及び「AO入試」の募集人員の状況を見てみよう。

推薦入試は、国立大1万2,154人(全募集人員に占める割合12.8%)、公立大8,033人(「別日程」を除く全募集人員に占める割合25.9%)である。

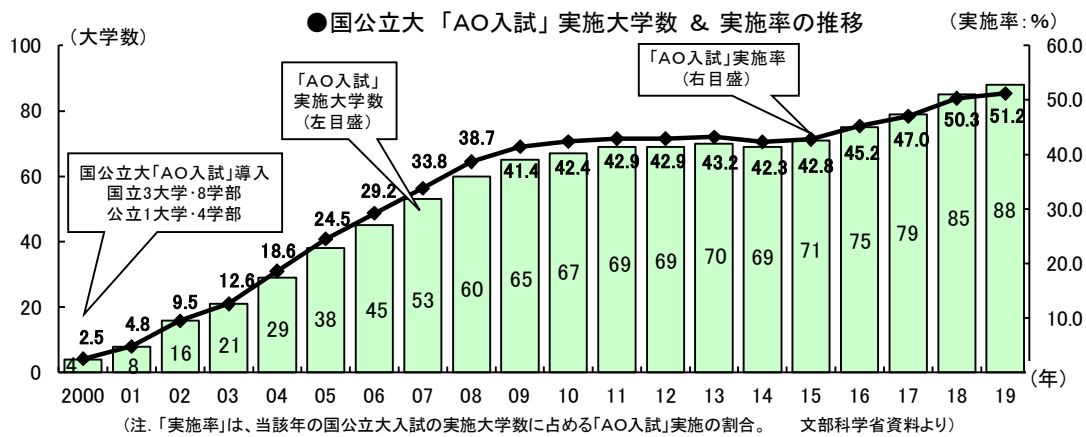
AO入試は、国立大4,411人(同4.6%)、公立大792人(同2.5%)である。

国公立大の推薦入試は2018年に比べ681人、3.5%増の2万187人、AO入試は前年に比べ412人、8.6%増の5,203人である。

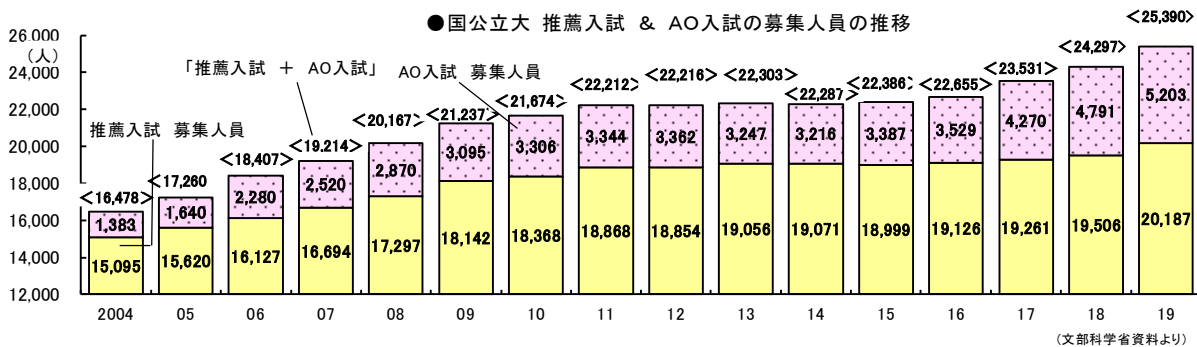
国公立大AO入試の募集人員は、2000年の導入以降増加したが、2013年に“初の前年割れ”で、2014年は2年連続の減員であった。2015年からは増加に転じ、2019年まで5年連続の増員。

2019年の「推薦入試+AO入試」の募集人員は、国立大で1万6,565人(国立大の募集人員に占める割合17.4%)、公立大で8,825人(公立大の募集人員に占める割合28.1%)となり、国公立大全体では2万5,390人(国公立大の全募集人員<公立大「別日程」を除く>に占める割合20.0%)となる。2018年に比べ、国立大は644人(4.0%)増え、公立大は449人(5.4%)増えた結果、国公立大全体では1,093人(4.5%)の増員である。(図3・4・7参照)

(図6)



(図7)





### ＜専門・総合学科卒業生、帰国子女、社会人入試＞

専門高校や総合学科を対象とする 2019 年「専門高校・総合学科卒業生入試」は、国立 6 大学・7 学部、公立 1 大学・1 学部の計 7 大学・8 学部で実施される。

「帰国子女入試」は国公立大全体で 93 大学・265 学部で、「社会人入試」は 104 大学・203 学部でそれぞれ実施される。(表 2 参照)